

くさしぎ便り No.18

市民のプラットフォームだより

くさしぎ・草の根市議と市政を考える会 2019年1月発行 e-mail kusasigi@nifty.com
ホームページは「辻よし子と歩む会」で検索してください。

同じ町内に住んでいるのに、ご近所の顔も知らないというのは、何だかさみしい。でも町内会・自治会に入ると、いろいろ面倒そう。住民にとって魅力的な地域づくりというのは、意外と難しい課題ですね。市の地域防災課の方にあきる野市の町内会・自治会の概略を伺って、みんなで話し合いました。議論百出!!

2018年11月5日(金)14時~16時ルピア産業情報室

第5回 市民のプラットフォーム

魅力的な地域づくりって?

町内会・自治会、それとも……



お話(市の出前講座)
あきる野市 総務部地域防災課の皆さん

町内会・自治会に 加入していますか?



市の地域防災課です。私たちは、町内会・自治会とその連合組織である連合会を総体的に支援する仕事をしています。

町内会・自治会は、日ごろ皆さまがよくご存じの組織だと思います。地域の人々が、つながりを深め、住民同士、また行政といっしょに、安全・安心な地域をつくり、住みよい環境にしていこうという団体です。また、町内会・自治会は全員加入の組織ではなく、そうした町内会・自治会の意義を大切に思う人々が、任意で加入する組織であるということも、皆さまご存知の通りです。

残念なことに、近年は町内会・自治会に加入する世帯が、だんだん減ってきております。このまま、この組織が弱体化した時にどんなことが起きるかということも含めて、きょうはお話したいと思います。

町内会・自治会が 担っている役割、仕事



町内会・自治会の役割は、ひとつには、住民たちの自主組織としての役割。もうひとつは、市と協働でいくつかの仕事を負担する役割があります。

■ 自主組織としての役割

- ① 相互扶助…助け合いです。
- ② 生活環境の維持整備 「一斉清掃」、住民

の要望を市に届ける等の活動を担います。

- ③ **安全・安心** 防災訓練、子どもたちの登下校の見守り等の活動を担います。
- ④ **地域資源の保護・伝承** 祭りなどの伝統文化を継承する活動を行います。
- ⑤ **親睦** 一緒に活動することで親睦が生まれます。

■行政と協働で行っている仕事

町内会・自治会が行政と協働で行う事業に対しては、委託料や補助金、奨励金が交付されます。

- ① **配布物の委託**
委託料：1年間1世帯当り 220円
- ② **敬老行事の実施**
補助金：630円×75歳以上の人数+27,000円（1町内会・自治会）
- ③ **資源集団回収**
奨励金：回収資源の種類と量によって。
- ④ **花いっぱい運動**
補助金：経費の一部を補助

このように町内会・自治会の役割は多岐にわたり、大変大きな力になっています。



町内会・自治会の重要性が見直されている

先にも話したように、生活環境が豊かになり、ライフスタイルが多様化する中で、町内会・自治会への加入率は低下の一途です。あきる野市の加入率も50.1%（平成30年）となっています。

半面、近年、震災や自然災害が多発する中で、「いざ」という時に助け合える町内会・自治会の重要性がクローズアップされてもきています。

連合会の研修でも被災地に出向いて、話を伺ったことがありますが、かなりしっかりした組織ができていても、実際に震災が起きると、やはりドタバタしてしまうそうです。そうした時に

ご近所が、支援し支援される関係であれば、孤立しないで済む可能性が高まると言っていました。町内会に無関心な人が増えていますが、いま一度、町内会・自治会の意義を再確認してもらえたらと思います。



町内会・自治会への支援

町内会・自治会の重要性を考え、市からは、いくつかの財政支援制度を設けて応援しています。

- ① **町内会運営費補助金**
522円×世帯数+90,000円（連合会加入の場合さらに地域振興費が交付される）
交付実績（29年度）85団体 21,157,860円
- ② **町内会館・自治会館維持費補助金**
1会館につき 54,000円
交付実績（29年度）72団体 4,536,000円
- ③ **町内会・自治会掲示板建築費等補助金**
半額補助
交付実績額（29年度）7団体 27万円
- ④ **町内会館・自治会館建設費等補助金**
工事費 60万円以上の工事が対象
工事費の1/3以内（540万円限度）
用地取得費の1/3以内（市街化区域 540万円限度、市街化調整区域 270万円が限度）

早わかり！

あきる野市の町内会・自治会

●町内会・自治会の数 85 団体

加入世帯数 17,669 世帯

加入率 50.1%



●町内会・自治会連合会

6 地区別に活動

広報部会、事業部会、総務部会がある

以上は、建物の建築費などに対する補助金でしたが、活動を対象にした補助金もあります。

① あきる野市コミュニティ事業交付金

市内の町内会・自治会、連合会が地域の公共・公益のために新たに行う事業の一部を補助。交付限度額は、単一町内会・自治会は10万円、地区は50万円まで。

② 活動支援資金貸付金

東京都の「地域の底力発展事業助成」の対象事業として助成金が支払われるまでの間、活動資金を貸付け（限度額20万円）

その他にも、一般財団法人「自治総合センター」が町内会のようなコミュニティ組織に対して助成を出しています。平成29年度は、あきる野市を通して、2団体が総額1750万円の助成を受けました。会館建設費の助成と連合会活動の助成です。

以上、支援制度も含めて町内会・自治会の概況をお話してきましたが、加入者数の減少に加え、近年は退職年齢が上がったことで、活動をリードしてくれる役員の手も少なくなり、課題となっています。活動のスリム化、予算のスリム化を検討する中で、町内会が活性する方策をさぐる時期になってきていると考えています。

質疑・応答コーナー

Q:組の人数が少ないのに、高齢者家庭が多くなって、組長や夏祭りの役ができない家がでてきている。たとえば80歳代になったら組長や夏祭りの役は免除するということはできないか。

A:行政というよりは各町内会で考えること。その上で現状を話すと、世帯が多い町内会は免除をしているところもあるが、世帯数が少ないと免除は難しい。小さな組をまとめる組替えなど、どんな方策があるか連合会とも協議していきたい。

Q:脱退の方法は？

A:町内会で方法が違うので、まずは町内会長に届けてほしい。

Q:東京都の「地域の底力発展事業助成」の対象となるのは、どういう事業か。

A:防災・防犯に関する申請が多い。事業で必要となるジャンパーを揃える、のぼり旗購入、落書きを消すなどが対象であった。

Q:町内会の加入率あきる野市はかなり良いほうではないか、他の地域の状況はどうか。

A:近隣自治体の町内会加入率は、立川市42%、青梅市42.45%、福生市37.83%、羽村市38.8%(29年度)。都内はもっと低いのが現状。旧の秋川市地域と五日市地域でも差があり、それぞれ46.2%、61.0%である。

Q:消火栓が家の前にある。町内会で消火栓の使い方講習を受けられるといいのでは。

A:「宝くじ」の助成金でAEDを各町内会で備え、講習会も開いた。町内会で消火栓の訓練ができるか確認したい。

Q:私の自治会では、役員は選考委員会をつくって、役員になっていただくようお願いして回る。町内会長は忙しく2~3日に1回は町内会関係の仕事をしているようだ。市の委託事業を減らすか、市の職員を増やして、会長の負担を減らせないか。

A:現在、行政配布物を月に3回、回覧をお願いしているが、回数も含め連合会と調整したい。市の様々な事業でお願いしているものがあり、連合会や担当部署と調整したい。

Q:町内会の役員をしている時、敬老行事の対象者名簿が会長に来て、役員内でコピーした。名簿には本人の生年月日も記載されていたが、年齢は不要だと思う。個人情報が出れる可能性がある。

A:敬老行事の担当は「高齢者支援課」で、見守り事業を町内会・自治会に委託している。その際、対象者の情報を出しているのだと思うが、担当

課へ報告する。

Q:未加入の人には配布物が回覧されないが・・・。

A:回覧は多くの方に情報提供する手段として、市広報やHP 以外の周知方法の一つとして行っている。重要な情報は通知などで本人に直接連絡することになる。

🌱 みんなで話そうコーナー 🌱

- 今回、町内会・自治会の会則を複数読んでみた。任意加入のはずだが、「原則加入」と会則に記している町内会もあって、驚いた。
- 回覧板が回らない人の話があったが、外国人住民への情報提供の手段も気になった。
- 町内会の会合は、牛耳る人がいたり、採決も拍手で済ますなど民主的でないと感じる。これでは、若い人は入らない。
- 息子が町内の祭りを楽しみにしている。
- 行政は、町内会に仕事を丸投げしている。
- 選挙になると、町内会が自民党候補者の応援団になる。
- 町内会の行事の折に、地域の人と話せる。
- ひとりぐらしで何かあったら困るので、町内会に入っていてよかったと思う。
- こういうざっくばらんな話ができるなら、町内会も地域づくりに役立つと思う。
- うちの町内会は高齢になると、組長を免除してくれる。
- アパートで一人暮らしの友人が、隣人と話す機会もなく町内会に入りたいと言っていた。
- ふれあい福祉委員が単身世帯の訪問をしており、うちにも来た。年齢がどうしてわかったのか、びっくりした。訪問はやめてほしい。
- 半身不随となった方が、みんなに迷惑をかけるからと町内会をやめるといふ。そういう人にこそ町内会は必要なのではないかと。
- 加入率を地域別に見ると、西の旧五日市地区の方が高い。習慣的なものもあるが、実際のつながりもまだ強いと感じている。
- 若い人が入らないと、消防団や祭りの実行委員など実際に動く人が足りず、町内会が力を発揮するのは難しい。
- 会館建設の折、けっこうな額の寄付をした。
- 島根県で町内会を解消し新たな組織をつくり、行政と協働しながら地域づくりを始めている市がある。参考にしてもよいのでは。
- 役員の仕事が多い。回覧の配布、自治会費を補うための資源回収、こどもの学習やお年寄りの見守りまで、多すぎると思う。
- 組長も寄付集めが大変。一括で集めるとか考えて。
- 災害募金を集めてくれるのは、助かる。
- 町内会の情報は、プライバシーとして守るものと逆に流さなくてはならないものがある。整理が必要だと思う。(了)

次回のプラットフォーム お知らせ

第6回

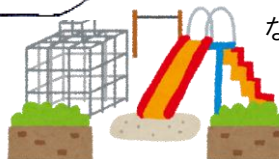
市民のプラットフォーム

公園って誰のもの？

～みんなが気持ちよく使うために～

日時:1月28日(月)16:00～7:45

場所:あきる野ルピア3階 産業情報室



公園って、子どもたちが鬼ごっこをしたり、営業マンが缶コーヒーを片手にくつろいでいたり、お年寄りがご近所さんと話に花を咲かせていたり。いろいろな人が利用する大切な空間です。でも、いろいろな人が使うからこそトラブルも。市の担当の方からあきる野市の公園のことを伺いながら、大切な公園のこと、話し合ってみませんか。